福岡国際市民協会　かめのり賞活動報告書

1. かめのり賞受賞回　第19回かめのり大賞　草の根部門

2. 団体名　一般社団法人 福岡国際市民協会

3. 活動目的

福岡国際市民協会は、「国籍・民族・文化・言語などの違いを尊重し、互いから学び合い、ともに生活できる地域社会の創造」を基本理念に掲げ、活動しています。多文化共生社会の実現を目指し、国際交流や相互理解を促進し、九州地域に暮らす外国にルーツを持つ子どもと保護者を対象に、学びや生活の支援を行い、多様性を力とする地域づくりに貢献します。

4. 活動報告

活動奨励金の活用方法・活動報告

活動奨励金は、外国にルーツを持つ子どもや保護者をはじめ、地域のさまざまな人々が集い、学び、交流、協働ができる環境を整えるために活用しました。

a)福岡多文化共育スペース　(週3回　14:00~18:00)

外国にルーツを持つ子どもたちを中心に、宿題や教科学習、日本語、英語、母語などを学ぶ「福岡多文化共育スペース」を継続して開催しています。また、外国ルーツの保護者を中心に、教育や生活に関する相談やサポートの対応も行っています。

子どもたちの日本語や教科学習を支えるだけでなく、母語を学ぶ機会や、自分のルーツや文化に触れる機会、また、プログラミングやアート、ダンスなど子どもたちが興味や得意なことを見つけ自分らしく表現できる機会も大切にしています。

b)国際交流・異文化理解イベントの実施

9月に「インターナショナル中秋節」を開催しました。様々な立場のグループと協働して実施し、多様な背景をもつ人々が交流できるシールラリーや文化体験活動、世界の文化のパフォーマンスステージ、各国料理の提供などがありました。また、留学生や日本人が協力して制作したオリジナル楽曲の披露があり、その歌を通して国境や違いを越えて参加者が出会い、みんなでひとつのものをつくりあげていく特別な時間となりました。

c)地域での共生のためのとりくみ

博多区吉塚で、「インクルーシブ防災フェスタ」を開催しました。地元の自治会や商店街、地域住民、外国人コミュニティ、研究者などが参加して地域の防災への意識を高め、連携を強化していくためのイベントを開催しました。市民が防災に関する知識を深めながら、意見交換をしたり、多世代・多国籍の交流を促進して顔が見える関係になれるきっかけとしての場を持つことができました。

現在計画している事業

現在、「九州地球市民学校／Kyushu Global Citizens School」というフリースクール事業を行っています。2026年４月より試験的にスタートさせ、ニーズや実態の把握をしながら9月より、本格的に開始しました。進学を目指していても手立てがなく孤立している若者や、家族の仕事等で来日し学校や会社などの所属がない人、就学年齢であっても不登校・不就学の子どもなどを対象として教育の機会と居場所の運営を行っています。日本語教育や進学・就職へ向けたサポートを充実させ、自分で道を切り開いていけるように伴走しています。

これまで活動をしてきた子ども食堂や学習支援、生活情報の提供、交流・体験活動などと柔軟に組み合わせ、子どもから大人まで、さまざまな人が自分の状況や関心に応じて立ち寄ることができ、安心して学びを深め、人や地域とつながることのできる居場所を目指します。

今後は、さらに九州地域の学校や行政、地域団体、NPO、企業などとの連携を深め、子どもと保護者への支援事業を継続・発展させ、制度や地域状況に応じた柔軟な支援体制を構築していきます。

どんな場所にいる人でもつながりを保ち、誰もがその地域の一員としてできることをしながら、背景に関わらずより良く共生ができるように、活動を続けていきたいと思います。

多文化共育スペースでの母語学習・体験活動・交流会の様子





インターナショナル中秋節のパフォーマンスステージおよび母語での体験発表




インクルーシブ防災フェスタでの消火器・炊き出し体験


